



第14回 「日本学術振興会賞」受賞候補者推薦要項
(平成29年度)

1. 趣旨

我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させるためには、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を早い段階から顕彰し、その研究意欲を高め、研究の発展を支援していく必要があります。この趣旨から日本学術振興会は、平成16年度に日本学術振興会賞を創設しました。

2. 対象分野

人文学、社会科学及び自然科学にわたる全分野

3. 授賞

授賞数は25件程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として研究奨励金110万円を贈呈します。

なお、日本学士院により、日本学術振興会賞受賞者の中から日本学士院学術奨励賞受賞者が選考されます。

4. 対象者

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと思われる者のうち、平成29年4月1日現在以下の条件を満たす者となります。

また、これまでにご推薦いただいた候補者のうちの女性割合は極めて低いというのが現状です。女性候補者の積極的な推薦をよろしくお願いいたします。

- 1) 45歳未満であること
- 2) 博士の学位を取得していること（博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む）
- 3) 外国人の場合は推薦時点において我が国で5年以上研究者として大学等研究機関に所属しており、今後も継続して我が国で研究活動を予定していること

注1：海外在住の日本国籍を有する研究者も対象としています。

注2：推薦は2年間有効としているため、第13回（平成28年度）に推薦された候補者のうち平成29年4月1日現在で45歳未満である候補者については今回推薦がない場合でも今回の審査の対象となります（キャリアオーバー）。

なお、第13回（平成28年度）に推薦された候補者が、その後の研究活動により新たな研究業績を重ねていると思われる場合については、改めて推薦されることをお勧めします。

注3：過去に推薦されたことがある者であっても、推薦することができます。

注4：過去の日本学術振興会賞受賞者の授賞対象となった研究テーマと今回の候補者の研究テーマが密接に関連している場合は、候補者の独自性が明確であることが求められます。

5. 推薦権者

- 1) 機関長推薦 我が国の大学等研究機関または学協会の長
- 2) 個人推薦 優れた研究実績を有する我が国の学術研究者（海外在住の日本国籍を有する学術研究者を含む）

※自薦は受け付けません。

6. 応募方法

1) 機関長推薦の場合

電子申請システムに登録（アップロードを含む）を行うとともに、紙媒体で提出してください。

様式1、様式2（1ページ目）は電子申請システムでダウンロードしたものを使用してください。それ以外の様式等は、本会のホームページ

(<https://www.jsps.go.jp/jsps-prize/index.html>) よりダウンロードしてください。

電子申請システム用のID、パスワードは、紙媒体にてご案内します。（2月中旬発送予定。）2月下旬になっても受領できない場合は、ご連絡ください。

・電子申請システム(<https://area18.smp.ne.jp/area/p/ldtj9tjob1mdpcn3/HewG4B/login.html>)

・操作マニュアル (<https://www.jsps.go.jp/jsps-prize/index.html>)

書類	電子申請	提出部数（紙媒体）
① 受賞候補者推薦名簿（様式1）	—	原本1部
② 推薦書（様式2）（1ページ目）	スキャンし、②～⑥の順番でPDF結合させた上、1つのデータとしてアップロードする。	原本1部 ※②～⑥を片面印刷し、1部ずつ順番に組んで、左上をホチキスでとめる。
③ 推薦書（様式2）（2ページ目）		
④ 推薦理由書（様式3）※注1		
⑤ 業績調書（様式4）		
⑥ その他（参考1）		
⑦ 業績調書一覧（様式4別紙）	—	各4部
⑧ 業績資料（論文の別刷・著書等から5件以内）※注2		

注1：④「推薦理由書」は、推薦者以外の2名から、それぞれ作成いただくものです。

注2：⑧「業績資料」は、⑤「業績調書」（様式4）の「Ⅱ【研究業績】」で○を付したとくに重要な業績の番号に一致するようそれぞれ番号を論文の別刷等の表紙に記入し、上から若い番号順に取りまとめ、⑦「業績調書一覧」（様式4別紙）とともにクリップ留め等してください。

注3：書類の作成にあたっては、本会のホームページに掲載している「提出書類の記入要領」を参照してください。

2) 個人推薦の場合

以下①「受賞候補者推薦名簿」を表紙とし、②～⑤と⑥～⑦を提出部数分セットして提出してください。

様式は本会のホームページ (<https://www.jsps.go.jp/jsps-prize/index.html>) よりダウンロードしてください。

書類	提出部数（紙媒体）
① 受賞候補者推薦名簿（様式1）	原本1部
② 推薦書（様式2） ③ 推薦理由書（様式3）※注1 ④ 業績調書（様式4） ⑤ その他（参考1）	原本1部、写し6部 ※②～⑤を片面印刷し、1部ずつ順番に組んで、左上をホチキスでとめる。
⑥ 業績調書一覧（様式4別紙） ⑦ 業績資料（論文の別刷・著書等から5件以内）※注2	各4部

注1：③「推薦理由書」は、推薦者以外の2名から、それぞれ作成いただくものです。

注2：⑦「業績資料」は、④「業績調書」（様式4）の「Ⅱ【研究業績】」で○を付したとくに重要な業績の番号に一致するようそれぞれ番号を論文の別刷等の表紙に記入し、上から若い番号順に取りまとめ、⑥「業績調書一覧」（様式4別紙）とともにクリップ留め等してください。

注3：書類の作成にあたっては、本会のホームページに掲載している「提出書類の記入要領」を参照してください。

7. 受付期間

平成29年4月7日（金）～12日（水）17：00（必着）

※電子申請システムは、平成29年2月10日から使用可能

※電子申請システム上での「電子申請」は4月12日（水）17：00までに完了願います。完了期限後は電子申請システムにログインできなくなります。

8. 選考及び選考結果の通知

日本学術振興会に設置する審査会において選考し、平成29年12月頃推薦者に通知します。

なお、日本学士院学術奨励賞については、同院において選考され、平成30年1月中旬頃受賞者に直接通知します。

9. 授賞式

平成30年1月から2月頃に行う予定です。詳細については、選考結果とともに受賞者に通知します。

10. その他

- 1) 推薦書等の提出後、その記載事項を変更または補充することはできません。
- 2) 提出された推薦書及び業績資料等は返却しません。
- 3) 選考結果に対する問い合わせには応じかねます。
- 4) 受賞者の氏名、略歴及び授賞の対象となった研究業績等は公表されるのであらかじめ承知願います。
- 5) 受賞者には、我が国の学術の振興、本会の事業の充実等のため、協力を依頼することがあります。
- 6) 推薦書類に含まれる個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び本会の「個人情報保護規程」に基づき厳重に管理し、本事業の業務遂行のために利用します。

11. 推薦書類（紙媒体）の提出先及び問い合わせ先

推薦書類は下記へ、配達記録の残る方法での送付によって提出してください。また、配達会社のホームページ等で到着の確認をしてください。

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1

独立行政法人 日本学術振興会

人材育成事業部 研究者養成課 「日本学術振興会賞」担当

TEL 03-3263-0912

FAX 03-3222-1986

ホームページアドレス

<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

参 考

I 第13回(平成28年度)日本学術振興会賞について

1. 推薦状況

第13回(平成28年度)			前回からの候補者※1	合 計※2
推薦機関	個人推薦	計		
237人(247人)	11人(11人)	245人(254人)	135人(116人)	380人(370人)

※1 本賞の推薦書は2年間有効であり、前年度の被推薦者から受賞者及び当該年度の4月1日時点で45歳以上の者を除いた者を審査対象者とする。

※2 重複推薦は1名で計上。

※3 ()内は、前年度の人数

2. 日程

推 薦 依 頼	平成28年2月5日
推 薦 書 受 付	平成28年4月11日～13日
予 備 審 査 (学術システム研究センター)	平成28年5月上旬～10月上旬
審 査 会	平成28年10月31日
受賞者決定報道発表	平成28年12月27日
授 賞 式	平成29年2月8日

II 過去の受賞人数

	日本学術振興会賞	日本学士院学術奨励賞
第13回（平成28年度）	25名	6名
第12回（平成27年度）	25名	6名
第11回（平成26年度）	25名	6名
第10回（平成25年度）	25名	6名
第9回（平成24年度）	24名	6名
第8回（平成23年度）	24名	6名
第7回（平成22年度）	25名	6名
第6回（平成21年度）	25名	6名
第5回（平成20年度）	24名	6名
第4回（平成19年度）	23名	5名
第3回（平成18年度）	25名	5名
第2回（平成17年度）	24名	5名
第1回（平成16年度）	25名	5名